

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 南アルプス市立楡形西小学校（※正式名称を記載）

種 別  保育園・幼稚園     小学校     小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校     中高一貫<sup>※注2</sup>     高等学校

教員養成大学     専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫 \_\_\_\_\_）

※注1 義務教育学校を含む    ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒400-0317

山梨県南アルプス市上市之瀬 727

E-mail knishi.es@m-alps.ed.jp

Website http://www.nishi.m-alps.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 63 名 女子 51 名 合計 114 名

児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

### （1）活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

当校は、「豊かな心をもち、たくましく生きる児童の育成」を学校理念として、E S D を地域の自然・歴史・文化を調査・探求する活動から得た価値に誇りを持つ活動と捉え、E S D の実践を通して地域の発展を担う一員として各々が自尊心を高め、積極的に活動するための力の育成を目標とした。

具体的には、地域の自然と触れ合う活動、地域の伝統文化を学ぶ活動を柱に、①伊奈ヶ湖に係わる活動、②高尾穂見神社に係わる教育を行った。

### ①伊奈ヶ湖に係わる活動

本校の学区内に位置する伊奈ヶ湖は、かつて水不足に苦しんだ地域の人々が灌漑用のため池として苦勞して作り上げてきた人工湖であり、現在では県民の森として、広く県民から親しまれる観光地ともなっている。本校では長くこの伊奈ヶ湖に関わりながら学習活動を展開してきている。

低学年ではどんぐりひろいなどを通して、伊奈ヶ湖の自然と親しみ、中学年では台地の土地利用のようすと灌漑施設として作られた伊奈ヶ湖の歴史を学び、それを紙芝居や劇などを通して保護者に伝える会を開いている。また高学年では、伊奈ヶ湖周辺に住む野生生物を観察する中で、野生生物にどういった気配りが必要なのかなどを学んだり、周囲の森林の保全について学び、学んだことを地域の

人々に伝えたりしている。

## ②高尾穂見神社に関わる教育

昔から続く高尾の夜祭では、本校の児童もお神楽で舞を奉納しており、その歴史や意義を地域の講師に話していただくとともに、参加する児童や保存会のみなさんが学校のホールで舞を披露した。郷土の文化と伝統を大切にし、守り育てている人々の努力を知り、郷土愛を育てることを目指している。



①伊奈ヶ湖周辺に住む野生動物の観察のため、センサーカメラを設置し、どういった野生動物が暮らしているのかを調べている。

①みどりの少年少女隊の活動として、1年に1回、下草刈りを行う。人が手をかけることで、自然環境が保たれることを学ぶ体験活動としてい

**伊奈ヶ湖に住むほ乳類**

くし那西小 五年 鶴 入 野 花 編  
 本校は伊奈ヶ湖に近くほ乳類の  
 のことについて調べたいので、  
 地域の人達にはほ乳類のことで関  
 心をもってもらい伊奈ヶ湖の  
 ことを調べています。

森かてきるためにほ乳類が必  
 要です。  
 森のことでわたしたち消費者は  
 関係が関わっています。地  
 事と私達は、森を守り  
 えてもらっています。

生態系  
 ・消費者 動物  
 ・生産者 植物  
 ・分解者 土の中のほ乳類

この3者をつ  
 てつくると  
 生態系が  
 保たれる

たゆまぬ努力、イノシシ、アライグマなどの  
 伊奈ヶ湖周辺にはたくさん(43種類)の  
 ほ乳類が暮らしています。

ほ乳類は、地域のほ乳類のことで入念に  
 調べています。このことについて調べたい  
 私達は、地域のほ乳類のことで入念に  
 調べ伊奈ヶ湖のほ乳類のことで入念に

**木のじゅんかん**

【伊奈ヶ湖小  
 五年 鶴 入 野 花 編】

私たちの住む西地区のまわりには、  
 森がたくさんあります。そんな身近にある  
 森はどのように成り立っているのでしょうか。  
 木が枝や葉を落とすと、それをミミズや  
 リヤダンゴムらが食べます。そしてその  
 つちを、ミミズが食べます。そのうち  
 は、木の根のようになります。また、そ  
 のうちを、かきまわすかざらに食べ  
 て、土になります。そこからはキノコ  
 などがはえて、そのキノコを、くまのさ  
 らんなどの動物が食べています。そのう  
 ちからは、植物がはえてきて、それを  
 他の動物が食べて……ということ  
 が、続いています。

この言葉の明のよに、森は常にじ  
 んかんしています。そのおかげで、い  
 る動物がはえています。そのことを多  
 くの人に知ってもらいたいです。

つくり、森はいろんな生き物にと

①伊奈ヶ湖での野生動物の観察などの学習から、学習したことをもとに、地域の人たちに向けたメッセージシートを作成し、回覧、配布した。



②高尾穂見神社に伝わるお神楽を保存会の方々に演じていただき、郷土の文化・伝統を守ることの大切さを学んでいる。

②自分たちの仲間により、演じられ、伝えられている舞を見学することで、自分たちの手で地域の文化を守り、育てていることを学んでいる。

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input checked="" type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

低学年は生活科で実施する「どんぐりまつり」に向けてのどんぐりひろいとして伊奈ヶ湖での活動を位置付けている。

中学年は総合的な学習の「伊奈ヶ湖の歴史を伝えよう」単元で地域の講師に話を聞いたりする中で「伊奈ヶ湖物語」のシナリオ作りや劇化に取り組んでいる。

高学年は総合的な学習の「よりよい地域を作っていくために何ができるか考えよう、発信しよう」「森の役割を知ろう」「環境問題を考えよう」の単元の中で、伊奈ヶ湖の自然について学び、それを発信するなどの活動を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各学年で一度は何らかの形で伊奈ヶ湖をおとずれる学習を位置付け、伊奈ヶ湖への親しみを高めるようにしている。

また、伊奈ヶ湖に住む白鳥の保護活動として、「白鳥のエサ集め」活動をこれまで40年以上続けてきている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

年に2回、学校評価を児童と保護者、教職員対象に行っている。その中の「自然や生物を大切にしている活動に力を入れていた」（保護者向け）や「生き物や作物を大切にすることができた」「地域の人たちから教えてもらった授業はたのしかった」（児童向け）といった項目は毎回高い評価がえられている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

5 学年は伊奈ヶ湖の自然観察などの学習から「伊奈ヶ湖に住む哺乳類」「伊奈ヶ湖のマナーを守ろう」「哺乳類にどんな気配りをすればよいのだろうか」「くらしと森・森の循環」の四つのメッセージシートを作成し、地域での回覧や図書館、駅、科学館などに掲示させていただいた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域の森林は間伐が進まず、荒廃が進んでいるが、ボランティアで間伐作業を行っている NPO の方に講師に来ていただき、日本の森林の現状と、今森林保護のためにどんな活動が必要なのかを、語っていただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特に交流は行っていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

伊奈ヶ湖の学習を通じて、子どもたちの中に自然を守り育てなければいけない、と言った使命感が少しずつ形作られているのが、例えば今回の「自然を守ろう」という地域の人々へのメッセージカードの内容などに表れてきている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

低学年 （生活科）単元名「どんぐりまつり」  
伊奈ヶ湖でどんぐりひろいをしながら、伊奈ヶ湖の自然に触れる。

中学年 （総合的な学習の時間）単元名「伊奈ヶ湖の歴史を伝えよう」  
地域の方々から伊奈ヶ湖の歴史についての話を聞き、「伊奈ヶ湖物語」を作り、保護者に向けて発表する。

高学年 （総合的な学習の時間）単元名「よりよい地域を作っていくために何ができるか考えよう、発信しよう」「森の役割を知ろう」「環境問題を考えよう」  
伊奈ヶ湖の自然について学習し、学んだことを地域の人々に向けて発信する。

高尾穂見神社に関わる教育

高尾の夜祭に伝わるお神楽について、その歴史や意義を地域の講師に話していただくとともに、夜祭に参加する児童や保存会のみなさんの舞を鑑賞する。